

基本目標6 パートナーシップが支えるまちの実現

1 板橋区の現状

■ 全区民参加型環境保全キャンペーン

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	進捗率	進捗度
全区民参加型環境保全 キャンペーン参加者数	25,674 人	↗	31,500 人	—	16,675 人	—	—

この指標は、「板橋クリーン作戦」（関連P75）、「ポイ捨て防止キャンペーン」（関連P76）、「打ち水キャンペーン」の参加者数を集計したものととなります。

コロナ禍を経て事業の実施形式を一部見直して再開したことにより、実績値の集計方法も変更したため、進捗状況の評価はせず参考値としました。

今後のキャンペーンについては、新しい生活様式に合った方法を検討し、実施していきます。打ち水キャンペーンは、引き続きホームページやSNSを活用し広く区民に参加を呼びかけていきます。

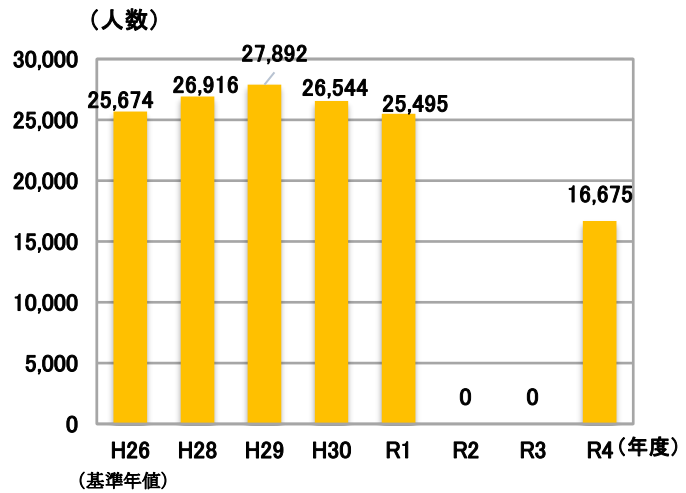


図2-6-1 全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数の推移

■ エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	進捗率	進捗度
エコポリスセンター事業への ボランティア等参加者数	990 人	↗	1,300 人	545 人	738 人	0%未滿	停滞

この指標は、エコポリスセンターの事業に協力したボランティアの人数を集計したものです。2021（令和3）年度の実績値より大きく増加しましたが、コロナ後の対応に慎重な部分もあり、基準年値よりも下回りました。今後も参加者の回復状況を見ながらボランティアの活動機会を提供するとともに、「板橋エコみらい塾」等の指導者養成講座でボランティアの人材育成・確保を図っていきます。

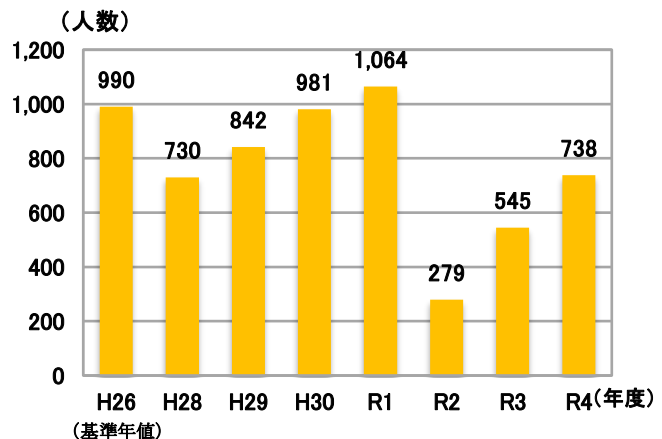


図2-6-2 エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数の推移

■ 環境登録団体数

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	進捗率	進捗度
環境登録団体数	27 団体	↗	37 団体	29 団体	25 団体	0%未満	停滞

この指標は、エコポリスセンター及びいたばし総合ボランティアセンターへの登録団体を集計したものとなります（重複は除く）。

2021（令和3）年度の実績値より減少し、基準年値よりも下回りました。団体構成員の高齢化や人手不足が課題となっているため、今後も、Webを活用した団体活動の提案や、若年層を巻き込める効果的な協働事業を引き続き目指していきます。

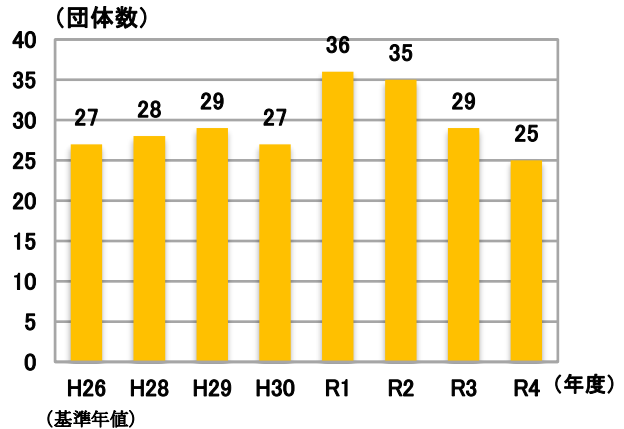


図2-6-3 環境登録団体数の推移

■ 環境学習講師派遣人数

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	進捗率	進捗度
環境学習講師派遣人数	363 人	↗	500 人	156 人	258 人	0%未満	停滞

この指標は、区内保育園や小中学校等における環境学習の出前講座の際にエコポリスセンターが派遣する指導者等の人数となります。

リモートを含めた企画を積極的に周知・実施したこともあり、2021（令和3）年度の実績値より大きく増加しましたが、コロナ後の対応に慎重な部分もあり、基準年値よりも下回りました。今後も、参加者の回復状況を見ながら出前講座を効果的に周知しニーズの増加を図ります。また、指導者養成講座等を継続し、講師を担うことのできる人材を育成することで、増加するニーズに対応していきます。

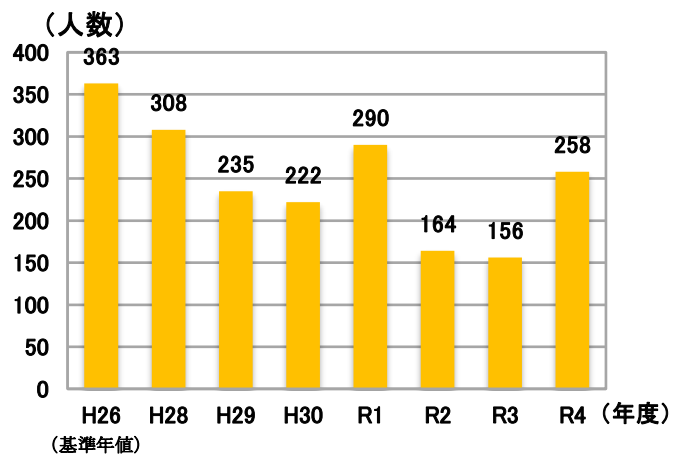


図2-6-4 環境学習講師派遣人数の推移



◀ 小学校へのお出前講座 (リモート授業) ▼



2 環境施策の活動状況

(1) 環境保全活動への参加や協働を進める仕組みづくり



エコポリス板橋クリーン条例

板橋区は、1998（平成10）年10月に、地域の環境美化活動の推進や区民の良好な生活環境を確保することを目的として、「エコポリス板橋クリーン条例」を制定しました。この条例では、ごみやたばこの吸い殻のポイ捨てを禁止するとともに、歩きたばこや自転車に乗りながらの喫煙をしないよう努めることを規定しています。

また、条例では、乗降客の多い駅周辺等を「路上禁煙地区」に指定し、終日路上での喫煙を禁止しており、現在8地区（成増駅周辺、上板橋駅周辺、大山駅・区役所周辺、板橋駅・新板橋駅周辺、ときわ台駅周辺、高島平駅周辺、東武練馬駅周辺、志村坂上駅周辺）が

対象となっています。

迷惑喫煙防止のためには、喫煙者のマナーの向上が必要であることから、ボランティアからなる「板橋区喫煙マナーアップ推進員」制度を2005（平成17）年4月に創設しました。現在、79名（2023（令和5）年3月31日現在）の推進員が、各地域で、吸い殻の清掃活動などに積極的に取り組んでいます。さらに、迷惑喫煙防止啓発のため、区内21の駅頭において区職員と推進員が協働で行う「駅頭キャンペーン」や、喫煙マナー指導員（区委託）による巡回パトロールなどを実施しています。



▶喫煙マナー指導員
（区委託職員）

◀喫煙マナーアップ推進員
（ボランティア）



関連する活動指標

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	進捗度
喫煙マナーアップ推進員人数	157 人	↗	82 人	79 人	後退
路上禁煙地区(8地区)内の定点におけるたばこのポイ捨て月平均本数※	1,300 本/月	↘	626 本/月	589 本/月	進展

※ 基本目標4「快適で健康に暮らせる生活環境の実現」の環境施策2「潤いのある景観や美しい街並みの保全」の指標であるが、「エコポリス板橋クリーン条例」に関する取り組みとしてまとめて表記する。

今後の対策:ポストコロナを見据え、活動内容や推進員の適正人数等について検討していきます。

関連するホームページ
（エコポリス板橋クリーン条例）

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006099.html>

エコポリス板橋環境行動会議

板橋区は、2001（平成13）年10月、「エコポリス板橋」実現のため、住民による任意の環境活動が、組織的な連携の場所を持つことにより一層活発化することをめざし、「エコポリス板橋環境行動会議」を設立しま

した。会議は、学識経験者、団体、地区環境行動委員会からそれぞれ推薦のあった方、区職員で構成されています。

「エコポリス板橋環境行動会議」は、委員相互の緊密な連携のもとに、広く区民等に対

して、環境保全・環境美化に関する普及啓発、環境情報の提供などを行います。

2022（令和4）年度の活動方針は以下のとおりです。

◆ 地域清掃及び環境美化の推進 (春・秋の板橋クリーン作戦)
◆ ごみのポイ捨て防止の推進 (ポイ捨て防止キャンペーン)
◆ 地球温暖化対策への取り組み (CO ₂ 削減区民運動「エコライフウィーク」)
◆ 情勢に応じた、環境問題についての情報交換
◆ 当会議の活動内容や環境情報の周知

また、「エコポリス板橋環境行動会議」では、区民の環境美化意識を高め、自主的な環境美化活動の輪を広げていくため、活動方針に基づき、全区的統一行動として事業計画を定めています。2022（令和4）年度の取り組み結果は表2-6-1のとおりです。

関連するホームページ
(エコポリス板橋環境行動会議)

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006102.html>

表2-6-1 区内統一行動と2022（令和4）年度の取り組み結果

全区的統一行動	2022（令和4）年度の取組結果
春の板橋クリーン作戦	(P75参照)
秋の板橋クリーン作戦	(P75参照)
ポイ捨て防止キャンペーン	(P76参照)
板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権	(P76参照)
打ち水重点啓発期間	7月16日から9月4日までの期間に、地球温暖化防止及びヒートアイランド緩和(※P97)のための活動の一環として打ち水の啓発を行いました。SNS等を活用し広く区民に呼びかけました。
CO ₂ 削減区民運動 (エコライフウィーク)	夏季・冬季に、エコアクション9(関連P78)の啓発を行いました。

エコポリス板橋環境活動大賞

板橋区は1999（平成11）年11月に板橋区環境保全賞を創設しました。これは、1998（平成10）年10月に制定した「エコポリス板橋クリーン条例」に基づく顕彰制度と、1979（昭和54）年から行ってきた「板橋区環境保全推進優良事業所及び優良公害防止管理者感謝状贈呈要綱」の二つの制度を統合し、「板橋区環境保全賞」として、環境問題に積極的に取り組み、努力されている方々に対し表彰を行ってきました。

しかし、環境保全賞の創設当時と比べると、区民や団体、企業等の環境に対する変化・向上により、様々な環境活動が実施されるようになりました。また、2009（平成21）年3月に「板橋区環境基本計画（第二次）」が策定され、取り組むべき環境施策が具体化されました。こうした状況等を踏まえ、従来の

「環境保全賞」をリニューアルし、「エコポリス板橋環境活動大賞」として2011（平成23）年度より実施しています。

2022（令和4）年度は、コロナ禍の影響により、中止しました。



関連するホームページ
(エコポリス板橋環境活動大賞)

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006100.html>

区民団体における取り組み

エコポリスセンターでは、環境活動を行う個人・団体等の活動支援や、環境について行動できる人づくりに力を入れています。事業

の受託者や講師として活躍している団体もあります。イベントへの出展等を通じて、来館者との交流も深めています。

関連する活動指標

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	進捗度
ボランティアなどの協力を受入れたエコポリスセンター事業数※1	183 件	↗	137 件	181 件	横ばい
自主講座支援回数※2	2 回	↗	1 回	1 回	後退

※1 エコポリスセンターの事業のうち、ボランティアが協力した事業の件数を集計したもの

※2 団体が自主企画した講座をエコポリスセンターが支援した回数

今後の対策:コロナ後の事業数、ボランティア受入人数の回復により、昨年度実績より大きく増加しました。団体の自主講座数昨年度比で横ばいなので、今後も指導者養成講座の内容に時代のニーズを反映させながら、多様な人材の育成を図っていきます。

関連するホームページ
(エコポリスセンター各種登録制度)

<https://itbs-ecopo.jp/various-application/>